

# 熊毛地域 地域振興の取組方針〈改訂版〉

## 1 「熊毛地域 地域振興の取組方針〈改訂版〉」の主な内容

### (1) 時代の潮流と熊毛地域の現状・課題（第2章）

#### ア 人口減少・少子高齢化の進行

熊毛地域では、多くの中学生・高校生が進学や就職で島を離れ、そのまま戻らない傾向がみられる。

高齢化率の上昇，生産年齢人口の減少により，人材不足が深刻化し，地域の経済活動に制約が生じるおそれがある。

住民が地域で安心して暮らしていくためには，人材の確保・育成に加え，地域コミュニティや地域交通の維持などが課題である。



資料：令和2年(2020年)国勢調査

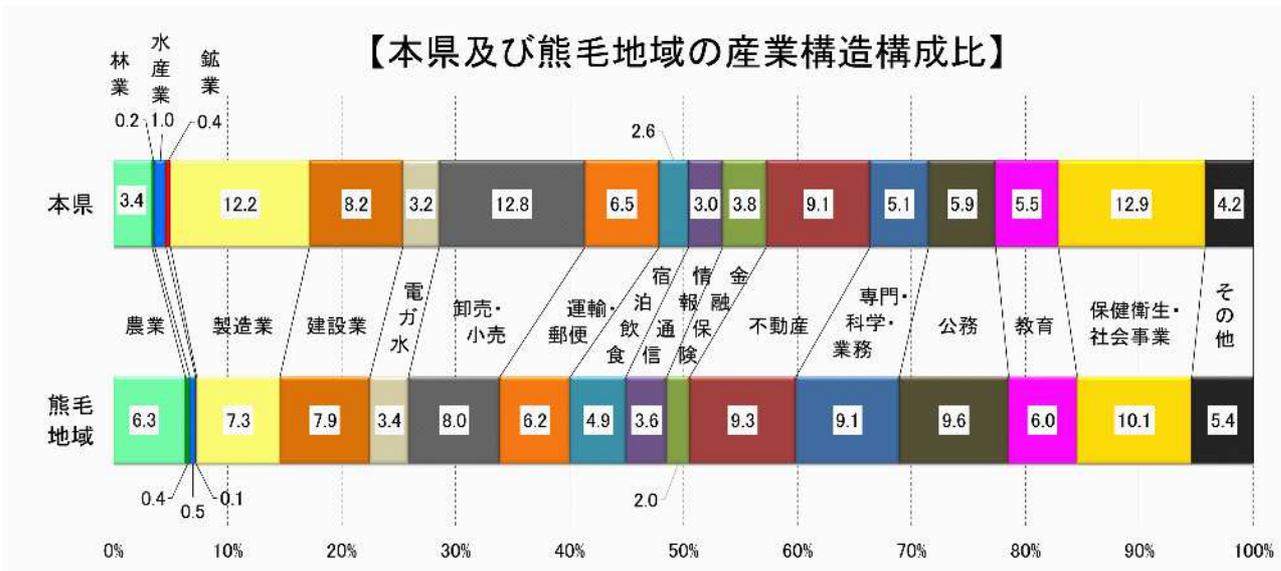
#### イ 熊毛地域の産業・経済の状況

産業構造は，国，県と比較して第一次産業，第三次産業の割合が高く，経済活動分類別では，「農業」，「宿泊・飲食サービス業」などの割合が高くなっている。

種子島は，農業が地域産業の一翼を担っているほか，宇宙関連施設の立地が地域経済に大きな影響を与えており，宇宙ビジネスの成長力を地域経済に取り込める可能性を有している。

2023年で世界自然遺産登録30周年を迎える屋久島は，観光関連産業が基幹産業となっている。

地域資源を生かしたこれらの産業の更なる振興により，「稼ぐ力」を向上させ住民所得の向上を図ることが重要である。



資料：令和元年度(2019年度)市町村所得推計報告書（鹿児島県統計協会）

## ウ デジタル化への対応

熊毛地域においては、全域で光ファイバが整備されているが、携帯電話については、不感地域及び一部事業者のサービスが利用できない地域が存在している。

ICTの活用による地域課題解決・地域活性化を図るため、ICTインフラの整備が必要である。

## エ グリーン社会・エネルギー問題への対応

熊毛地域においては、太陽光、風力、さとうきびの搾りかすであるバガスを利用した発電設備等が導入されている。特に屋久島においては、豊富な水を利用した水力発電が行われ、島内の電力のほとんどが賄われている。

カーボンニュートラルの実現に向け、地域の恵まれた資源を生かした再生可能エネルギーの更なる導入が期待されている。

## オ 国土強靱化・災害リスクへの対応

熊毛地域は台風の常襲地帯であるとともに、局地的豪雨や河川・土砂災害等が発生しており、口永良部島の新岳においては2015年に爆発的噴火が発生し、全島避難が行われた。

このようなことから、防災対策を推進するなど、災害に強い島づくりに取り組んでいくことが必要である。

## カ 多様なライフスタイル等の変化に伴う地域課題への対応

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機とした地方移住への関心の高まりを、地方への大きなひと・しごとの流れにつなげ、人をひきつける地域づくりに取り組むことが必要である。

## (2) 取組の基本方向（第4章）

### ア 島の未来を拓く人づくり～島民一人ひとりが地域に誇りを持ち多彩な個性と能力を発揮できる熊毛地域～

#### (ア) 誰もが個性と能力を発揮できる社会の実現

- ・ 高齢者が豊富な知識等を生かして、地域づくりの担い手として社会参加するよう支援する。

また、地域における高齢者の見守りや生活支援が充実するよう、高齢者を地域全体で支える活動を促進する。

#### (イ) 結婚、妊娠、出産、子育ての希望がかなう社会の実現

- ・ 妊娠から出産・子育てまでの連続したサポート体制の充実等による結婚、妊娠・出産の希望の実現や、ファミリー・サポート・センター設置などの環境整備等により、安心して子育てできる社会づくりを促進する。
- ・ 子どもの医療費助成、離島生徒の大会参加費助成、低所得者世帯の貧困対策等により、子どもたちが未来に希望を持てる社会づくりを促進する。

- (ウ) 健康で長生きできる社会の実現と良質な医療・介護の確保
  - ・ それぞれの島特有の豊かな自然，トレッキングやマリンスポーツ，ヨガ，天然温泉等を活用した，地域住民の心身両面からの健康づくりを促進する。
  - ・ ICTを活用した遠隔医療の促進，ドクターヘリの運航などにより，離島・へき地医療や救急医療の提供体制の充実を図る。

(I) 地域を愛し世界に通用する人材の育成，文化・スポーツの振興

- ・ 小規模校や複式学級における教育の質の向上のため，ICTの活用による学習の個別最適化や協働的な学びの充実，他校との交流学习の拡充等を推進する。
- ・ 世界自然遺産に登録されている豊かな自然などを生かした持続可能な開発のための教育（ESD）等を促進し，脱炭素社会に関する理解を深め，環境を守るための行動ができるよう環境教育の充実を図る。



小学校でのICT活用の様子

イ 暮らしやすい島づくり～島民誰もが安心して心豊かに暮らせる熊毛地域～

(ア) 屋久島世界自然遺産を核とした脱炭素社会の実現

- ・ 屋久島が脱炭素社会の先進的な地域となるよう，電気自動車の更なる普及や水力発電の余剰電力を活用した水素の製造・利活用に向けた取組を推進する。
- ・ 再生可能エネルギーの導入を図る産学官連携による取組等を促進する。



尾立ダム

(屋久島電工機における水力発電)

(イ) 安心・安全な県民生活の実現

- ・ 西之表港において，大規模自然災害発生時の緊急物資等の海上輸送ルートを確認するため，耐震強化岸壁等の整備を推進する。
- ・ 口永良部島では，火山噴火緊急減災対策砂防計画に基づく取組を進めるほか，活火山避難対策として，定期船が接岸する漁港施設の耐波性能強化を推進する。



西之表港洲之崎地区

- ・ 馬毛島における自衛隊施設の整備等については，国や地元市町と緊密に連携を図りながら，住民の安心・安全が確保され，また，環境保全措置等が講じられるよう取り組む。

(ウ) 快適な生活環境の向上

- ・ 屋久島空港については、住民の利便性向上や交流人口拡大のため、ジェット機が就航可能な空港整備に向けた取組を推進する。
- ・ 高速船の更新については、関係機関等から情報収集を行いながら、計画的な更新を検討するとともに、国等の支援を要請する。



屋久島空港

(エ) 個性を生かした地域づくりと移住・交流の促進

- ・ 山村留学や家族留学の受入が移住・定住につながるよう、受入体制の整備を促進する。
- ・ 地域づくりに取り組む多様な担い手が出会い、つながり、新たな取組が生まれる場づくりを促進しながら、積極的に地域活動に取り組むリーダーやコーディネーターの育成を図る。

ウ 島の資源を生かした産業づくり

～島の魅力・資源を生かした産業の振興が図られ、新たな産業が創出される熊毛地域～

(ア) 農林水産業の「稼ぐ力」の向上

- ・ 農業については、基幹作物であるさとうきび、さつまいもの安定生産、サツマイモ基腐病等の防除対策推進や、温暖な気候など地域の強みを生かした野菜、果樹、花き等の生産振興、農業生産基盤の整備、土地改良施設の長寿命化対策等を推進する。

また、地理的表示（GI）保護制度に登録された「種子島安納いも」、ブロッコリー、たんかん、レザーリーフファン等のイメージアップや消費者に対する認知度・信頼度の向上を図るとともに、6次産業化に取り組む農業者等を支援する。



種子島安納いも



ブロッコリー



たんかん

- ・ 林業については、良質なスギ丸太やスギ製材品等の島外移出の推進や、ニガダケ、枝物など地域の特性を生かした特産林産物の産地づくりを進める。
- ・ 水産業については、ブリ種苗の中間育成の促進、トビウオ、サバなど地域特産魚介類の販路拡大や魚食普及を推進する。



島産材の積み込み状況

(イ) 観光の「稼ぐ力」の向上

- ・ 種子島宇宙センターなど宇宙関連施設を有する立地を生かした観光振興を推進する。

また、サーフィンやダイビングなどのマリンスポーツをはじめ、ヨガなどの健康・癒しプログラム、アニメの舞台となった地域を巡るアニメツーリズムなどの滞在型観光を促進する。



種子島宇宙センター



サーフィン



ヨガ

- ・ 奄美・徳之島の世界自然遺産との広域連携による「ヘリテージツーリズム」の構築や、豊かな自然環境と住民が共生できる持続可能な観光地づくりを目指し、エコ・ツーリズムを推進する。

その一つとして、屋久島においては、地元の語り部による「里めぐり」など、山だけではない、里地の魅力を生かした滞在型観光を促進する。



リバーカヤック（安房川）



里めぐり（永田地区）

(ウ) 企業の「稼ぐ力」の向上

- ・ 地理的制約を受けにくい情報通信関連産業などの企業立地等の促進を図る。
- ・ 今後も成長が期待される宇宙関連産業について、JAXAや現地の関連企業と継続的に意見交換・情報交換を行いながら、射場の利活用促進、宇宙ビジネスの創出などにつなげる。

(エ) 多彩なキャリアをデザインできる働き方の創出

- ・ 就職や進学を控えた高校生等を対象に、地元で働く魅力や意義等についての意識啓発、将来のUターンを視野に入れたキャリアデザインの支援等を行い、地域を支える人材の確保・育成を推進する。
- ・ 時間や場所にとらわれることなく働くことができるテレワークの普及啓発など、柔軟な働き方がしやすい環境整備を促進する。

## 2 改訂に向けたこれまでの取組等

取 組	内 容	年 月 日
地域懇談会（第1回）	県政ビジョン等の説明，現状・課題について意見聴取	令和4年6月30日
地域懇談会（第2回）	素案について意見交換	10月19日
地域おこし協力隊員との意見交換会（3回）	県政ビジョン等の説明，現状・課題について意見聴取	8月23～25日
地元高校生との意見交換会（3高校）	同上	9月28～30日
種子島観光ビジョン協議会	同上	9月28日
熊毛地域人財確保・育成推進協議会	同上	10月11日
地域行政懇話会（第1回）	管内市町への概要説明	7月4日
地域行政懇話会（第2回）	管内市町への見直し状況の説明	11月22日～29日
素案について意見照会	管内市町へ素案について意見照会	11月9日
改訂案について意見照会	懇談会委員・管内市町へ改訂案について意見照会	令和5年1月31日

- (1) 種子島・屋久島の企業や関係団体の代表者17人からなる地域懇談会を設置し，2回の会合で意見聴取を行った。
- (2) 島外出身者や若者の意見を反映させるため，地域おこし協力隊員や高校生との意見交換会を行った。
- (3) 地域行政懇話会で各市町の首長等に説明したうえで，意見照会を行った。